

🖤 佐賀近代医学教育公開シンポジウムのご案内

開催日時: 2025. **12**. **7**(日) 14:00~16:40

近代日本の医学制度は佐賀人がつくった?

わが国近代医学制度の枠組みは、明治7年8月18日公布の「医制」から整えられました。医師の国家資格 試験制度、西洋医学(ドイツ医学)の導入、医薬分業など、わが国の近代医薬制度のすすむべき道筋が提示 されました。この「医制」を立案したのは、最新の研究によって、佐賀藩出身の相良知安らと第一大学区医学校 (のちの東京大学医学部)チームであることが判明しました。

相良知安らが、なぜ全国の「医制」を立案できたのかを解くカギは、佐賀藩医学校好生館における西洋医学 教育のあり方にあるのではないかと考え、今回の公開シンポジウムを企画しました。参加された方々とともに、 佐賀の医学教育の先進性を考えます。どなたでも参加できます。お誘いあわせてお出かけ下さい。

◆会場

佐賀大学経済学部4号館 1階145番教室

〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄町1

美術館横の正門横駐車場入り口から入り、

P 駐車場右奥の建物の1階です。

車の場合、最初の1時間無料、あと1時間ごとに100円です。

令和7年12月7日(日) 14:00~16:40

佐賀大学地域学歴史文化研究センター、佐賀医学史研究会、 科研費「佐賀県近代医学教育成立に関する基礎的研究」チーム

後摆

佐賀県医療センター好生館、佐賀県、佐賀市、 佐賀県医師会、佐賀新聞社



シンポジウム次第

開会行事 総合司会:相良 隆弘(佐賀医学史研究会理事) 14:00~14:10

14:10~14:40 青木 歳幸 「佐賀藩医学教育の先進性 |

14:40~15:10 小澤 健志 「佐賀藩好生館蔵書のなかからみえるもの」

15:10~15:20 (休憩)

15:20~15:50 南里 早智子「好生館に学んだ医師たちの修学履歴 |

15:50~16:00 (休憩)

16:00~16:40 シンポジウムテーマ: 「近代医学の成り立ちと好生館の先進性 |

コーディネイター: 樗木 等 (佐賀県医療センター好生館理事長)

パネリスト: 青木 歳幸、小澤 健志、南里 早智子

◎同日13:15~13:35まで、同一場所において佐賀医学史研究会2025年度総会が開かれます。 会員の皆さんは、お早めにおでかけください。

